

科目名	<b>国際研究入門</b>	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			総合政策学部	□ 必修 ■ 選択
英文表記 独文表記	<b>International Studies</b> <b>Internationale Studien</b>	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年	
ふりがな	てらさこ ごう	開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
担当者名	寺迫 剛	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
授業のテーマ	<p>新型コロナ危機に直面した当初、まるでSF映画のように、世界中の人々は物理的に離れ離れになってしまった一方で、逆に世界は一つしかないという連帯感を生み出せる機会であったのも束の間、今や現実の世界は再びあらゆる争いに覆われています。例えば、国家間における戦争から、一国内における内戦や格差社会をめぐる問題まで、一体なぜ、平和に安心して暮らせないのか？</p> <p>「国際研究入門」を通じて、その答えに近づいてみませんか？</p> <p>資源も限られ環境も変動する地球上で、それぞれの歴史的経路などから多様な制度を有する約 200 の国と地域について、多様な行為主体（アクター）が織りなすダイナミクスあるいはエコシステムとして認識します。そして、人権と民主主義といった普遍的な価値や、SDG(Sustainable Development Goals)等の人類共通のアジェンダについて学びます。</p> <p>本講義では、国際研究に係る理論と現実を架橋し、各国を基本的な単位としつつ、国境や階層を超えて相互作用する「社会を共にし、運命を分かち合っている人々が互いに力を合わせて共通のニーズを充足し、人間としてのよりよき存在のために必要な諸条件を整えていくことを目指す集会的な営為」（片岡寛光(1990)『国民と行政』）についての理解を深めることをテーマとします。</p>			
到達目標	<p>①国際関係論や比較政治学等についての基礎的な知識を習得し、</p> <p>②国際連合その他の国際的な機関等の制度的枠組みと、その枠組みの内外で相互作用する多様なアクターについて理解するとともに、</p> <p>③国際社会における日本を客観視できる視点を獲得することで、世界の多様性と互惠性を認識することを目標とします。</p>			
授業概要	国際研究入門を通じて、私達が暮らす世界の基本的な「しくみ」について講義し、日本を客観視できる認識力を獲得することで、私達の日常が世界の多様性と不可分に結びついているという認識を涵養します。			
授業計画				
第1回	イントロダクション【そもそも国際研究とは】アクター（行為主体）を単位とする分析「ものさし」			
第2回	国際関係のしくみ①【アクターとしての各国の結びつき】国際連合は万能ではないが無力でもない！			
第3回	国際関係のしくみ②【分野ごとに網羅する国際機関】UNESCO、UNHCR、IMF、IAEA、NATO、EU			
第4回	国際関係のしくみ③【地方政府アクター】自治体国際化論。広島市・長崎市主導の平和市長会議			
第5回	非国家アクター①【エリート】ダボス会議、ミュンヘン安全保障会議って何者？グローバル企業に主導権？			
第6回	非国家アクター②【草の根】市民の結びつきが世界を動かす！Friday for Future、ICRC、ICAN			
第7回	模擬国連をやってみよう①【役割・舞台設定】国連総会・国連安全保障理事会と約200の国連加盟			
第8回	模擬国連をやってみよう②【テーマ設定と実演】ウクライナやパレスチナ等における戦争、環境問題やSDGs			
第9回	民主主義は大丈夫か①【各国民主主義指標】どの体制が上手く新型コロナ危機へ対応したか？			
第10回	民主主義は大丈夫か②【アメリカ合衆国大統領選挙】「もしトラ」のインパクトに世界はどう備えているか？			
第11回	民主主義は大丈夫か③【体制・文明間競争】古代ギリシャ民主制以来の東洋と西洋の競合と協調			
第12回	歴史に学ばぬ者にならぬように①【キリスト教の影響】初の近代的国際条約ウェストフェリア体制			
第13回	歴史に学ばぬ者にならぬように②【市民革命と産業革命と「民主化の波」】ネット上で霞む史実			
第14回	歴史に学ばぬ者にならぬように③【国際関係論の理論と実際】Realism 対 Liberalism の相克			
第15回	コンクルージョン【結局のところ国際研究とは】まとめ/期末試験・成績評価の概要			

第 16 回	定期試験
授業時間外の学習	文部科学省の大学設置基準第 21 条に基づき、 予習 2 時間：講義のテーマに関する情報に積極的に接し、疑問点および現時点での考えをまとめておく。 復習 2 時間：講義を踏まえ、レジュメ等を基に、各自オリジナルのノート (A4 版 1 頁程度) をまとめる。
履修条件 受講のルール	カリキュラムの規定のとおりです。
テキスト	『政府間関係の多国間比較—中間政府への権限移譲の実態』 秋月謙吾・城戸英樹編 (慈学社、2021) 『新しい地政学』 北岡伸一・細谷雄一編 (東洋経済新報社、2020) 『比較政治学入門』 岩崎正洋 (勁草書房、2015) 『比較政治制度論』 建林正彦・曾我謙吾・待鳥聡史 (有斐閣アルマ、2008)
参考文献・資料	『国際関係論 アカデミックナビ』 多湖淳 (勁草書房、2024) 『コロナ化した世界』 岩崎正洋編 (勁草書房、2024) 『危機と国家』 日本比較政治学会編 (ミネルヴァ書房、2023) 『クライエンテリズムをめぐる比較政治学』 日本比較政治学会編 (ミネルヴァ書房、2022) 『質的比較分析 (QCA)』 パトリック・A・メロ著、東伸一・横山斉理訳 (千倉書房、2023) 『命か経済か：COVID-19 と政府の役割』 岩崎正洋編 (勁草書房、2023) 『人口減少時代の地域経営政策』 川島典子編 (晃洋書房、2022) 『原子力政策と住民参加—日本の経験と東アジアからの示唆』 田中良弘 (第一法規、2022) 『比較政治学方法論批判』 大木啓介 (日本評論社、2021) 『議会制民主主義の揺らぎ』 岩崎正洋編 (勁草書房、2021) 『日本型福祉国家再編の言説政治と官僚制』 西岡晋 (ナカニシヤ出版、2021) 『住民投票の全て』 今井一編 (『国民投票／住民投票』 情報室、2021) 『Verwaltung und Verwaltungswissenschaft in Deutschland』 Jörg Bogumil und Werner Jann, (Springer VS, 2020) 『新しい地政学』 北岡伸一・細谷雄一編 (東洋経済新報社、2020) 『政策はなぜ検証できないのか』 西出順郎 (勁草書房、2020) 『原発災害で自治体ができなかったことできなかったこと』 今井照編 (公人の友社、2019) 『東日本大震災大規模調査から読み解く災害対応』 稲継裕昭編 (第一法規、2018) 『原発都市』 乾康代 (幻冬舎ルネッサンス新書、2018) 『詳説世界史研究』 木村靖二・岸本美緒・小松久男 (山川出版社、2017) 『Federalism and Social Policy』 Scott L. Greer and Heather Elliot, (University of Michigan Press, 2019) 『地方創生大全』 木下斉 (東洋経済新報社、2016) 『地方分権の国際比較—その原因と中央地方間の権力関係の変化』 秋月謙吾、南京兌 (慈学社出版、2016) 『比較政治学入門』 岩崎正洋 (勁草書房、2015) 『ウェストミンスター政治の比較研究』 R.A.W.ローズ他著、小堀眞裕・加藤雅俊訳 (法律文化社、2015) 『政策過程の理論分析』 岩崎正洋編 (三和書籍、2012) 『英国の大都市行政と都市政策 1945-2000』 馬場健 (敬文堂、2012) 『日本の自治体外交』 ブルネンドラ・ジェイン著/今村都南雄監訳 (敬文堂、2009) 『比較政治制度論』 建林正彦・曾我謙吾・待鳥聡史 (有斐閣アルマ、2008) 『新制度論』 B・ガイ・ピーターズ著 (土屋光芳訳) (芦書房、2007) 『Politics in Time- History, Institutions, and Social Analysis,』 Paul Pierson, (Princeton University Press, 2004) 『Designing Social Inquiry: Scientific Inference in Qualitative Research』 Gary King, Robert O. Keohane, Sidney Verba, (Princeton University Press, 1994)
成績評価の方法	期末試験の成績に基づきつつ、期末試験 55%、小レポート 15%、講義への貢献度 30%を踏まえ、総合的に評価します。 ※ノースアジア大学の規定により、出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	水曜日 4 限および木曜日 4 限
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	—
学生へのメッセージ	いわゆるコミュ力があると思っている人も、独りぼっちだと思いついでいる人も、誰もが楽しい講義です、なぜなら「地球はまわる 君をのせて いつかきっと出会う ばくらをのせて」(宮崎駿 1986)回るからこそ、国際研究入門が対象とするのは、世界を構成する各国を構成する私達一人ひとりであり、最も忘れてはならない大切なことは、「誰も見捨てない」ことだからです。